

第5分科会

「豊かな人間性」

運営概要

【研究課題】

豊かな人間性を育む教育課程と校長の在り方

【研究の視点】

- 1 新たな社会を生き抜く人権感覚の育成
- 2 豊かな心を育成する教育課程の編成・実施・評価・改善

I 分科会研究協議の運営計画

自らを律し他人を思いやる心と感動する心を持つ豊かな人間性の育成は、教育の担う重要な目標の一つであり、社会全体の願いでもある。

ところが、現実には、子どもを取り巻く環境の変化、特に家庭や地域社会の教育力の低下、いじめや暴力行為、不登校など、子どもが安心して学べる環境の劣化が叫ばれ、子どもたちの社会にも、自制心と規範意識の希薄化、現実逃避行動や利己的な考え方が蔓延していることが指摘されている。

第5分科会では、その現実を真摯にとらえ、豊かな人間性を育むために、道徳教育の充実と人権感覚の育成を切り口として、教育課程の改善を図る校長の役割と指導のあり方について検討、討議をする。次の2つの視点で話し合う。

「視点1：新たな社会を生き抜く人権感覚の育成」 <予想される討議内容>

- ・価値観や個性の違いこそが豊かさにつながるという感覚の育成と校長の役割
- ・互いに認め合う相手意識を醸成する教育活動と校長の役割
- ・人権感覚を磨く実践例を基にした成果と課題について

「視点2：豊かな心を育成する教育課程の編成・実施・評価・改善」 <予想される討議内容>

- ・学校規模や地域性に即した教育課程編成時の校長の役割
- ・教育課程のP・D・C・Aにおける校長の関わり方
- ・地域の教育力と連携した心の教育の推進時の校長の役割

II 昨年度までの課題

～平成23年度 道小：釧路・弟子屈大会から～

- ・教育課程編成・実施についての成果を踏まえた、教育課程の評価と検証、改善についての校長の役割
- ・家庭、地域のさらなる連携を図るとともに、教師の資質と授業向上に向けて道徳授業の公開などの人材育成のあり方
- ・心の教育を推進する上での、教育課程全体の要となる「道徳の時間」の充実に関する校長の役割

～平成24年度 道小：上川大会から～

前大会の課題を受けて「特色ある活動、教育内容などの教育課程に関わる改善」「家庭、地域、異校種との連携に関わる改善」「道徳の時間の充実と校内体制に関わる改善」の視点で函館支部の発表をもとに討議された。課題は次の4点に集約した。

- ・教育課程の編成、実施、評価、改善の各ステップでの校長のリーダーシップのあり方
- ・経営方針の明確化を目指し、具現化に導く校長の役割
- ・校長自らが実践できることを足下から探ること
- ・「人権教育」の視点を踏まえた実践の探求

III 研究発表の概要

研究発表者 函館市北昭和小学校長 古川 邦彦先生

「心豊かに優しさを持って生きる児童を育成する教育課程の編成と校長の在り方」

過去2年間の研究の成果と課題を踏まえて、豊かな人間性を育む学校づくりをする上で校長の果たすべき役割やリーダーシップの発揮の仕方について考察する。

実践名「人権感覚の育成を目指した重点教育目標具現化の取組」

24年度に学校教育目標改定委員会を立ち上げ、1年間かけて広く意見を聞き計画的に教育目標を制定し、その理念に基づき課題意識を鮮明にした重点目標にした。具現化の一つとして「学級での5つのルール」と「学級がもつ6つの働き」を示し、学級経営の指針とした。人権感覚を育むとは、日常の教育活動の再評価と指導者側の意識変革であることを提言する。

実践名「ともに」の精神（こころ）で目指す「夢と未来と仲間づくり」

児童の育ちを外部アンケートでリサーチ（R）し、R—P・D・C・A というように教育課程編成改善のマネジメントに取り入れた。「亀田小学校スタンダード」の設定や「人間関係づくり」をテーマにした道徳の一斉参観授業、児童会活動の「ピア・サポート委員会」の設置など教育課程改善の節目で行った校長の役割を報告する。

IV 協議の流れ

- | | | |
|----|--|-------------|
| 1 | 開 会：日程確認（5分） | 13:00～ |
| 2 | 趣旨説明（10分） | 13:05～13:15 |
| 3 | 参会者キーワード作成 記録シートに記入（2分） | 13:15～13:17 |
| 4 | 研究発表（25分） | 13:17～13:42 |
| 5 | 質疑応答（28分） | 13:42～14:10 |
| | ・参会者は記録シートに研究発表の質問や感想を書き込む（8分） | |
| | ・全体で研究発表の質疑（20分） | |
| 6 | 休憩（10分） | |
| 7 | グループ討議（60分） | 14:20～15:20 |
| | 討議の柱 | |
| | 1 人権感覚の育成を切り口とした経営方針と教育課程の具体例とは | |
| | 2 道徳教育の推進と人権感覚の育成するための組織と人材育成とは | |
| | 3 地域や関係機関と連携した教育課程編成と校長の役割とは | |
| | 4 教育課程のP・D・C・Aの節目における校長の具体的な関わり方とは | |
| | <u>討議の柱から2本（課題1本と選択1本）をグループごとに討議する</u> | |
| 8 | 休憩（10分） | |
| 9 | 論点カード作成（5分） | 15:30～15:35 |
| 10 | 全体協議……グループ討議の交流と深化（35分） | 15:35～16:10 |
| | 7グループ×3分 | |
| 11 | 研究協議のまとめと今後の課題（15分） | 16:10～16:25 |
| 12 | 連絡・閉会 | 16:25～16:30 |